



2024年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2023年11月8日

上場会社名 株式会社トーアミ 上場取引所 東
コード番号 5973 URL <http://www.toami.co.jp>
代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 北川芳仁
問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理本部長 (氏名) 古田貴久 TEL 072-876-1121
四半期報告書提出予定日 2023年11月13日 配当支払開始予定日 2023年12月4日
四半期決算補足説明資料作成の有無：無
四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

1. 2024年3月期第2四半期の連結業績（2023年4月1日～2023年9月30日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年3月期第2四半期	8,726	23.0	115	—	98	—	62	—
2023年3月期第2四半期	7,095	23.8	△69	—	△87	—	△43	—

(注) 包括利益 2024年3月期第2四半期 122百万円 (—%) 2023年3月期第2四半期 △96百万円 (—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2024年3月期第2四半期	10.36	—
2023年3月期第2四半期	△7.07	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2024年3月期第2四半期	19,212	10,856	56.4
2023年3月期	18,359	10,782	58.6

(参考) 自己資本 2024年3月期第2四半期 10,844百万円 2023年3月期 10,767百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2023年3月期	—	7.50	—	7.50	15.00
2024年3月期	—	7.50	—	—	—
2024年3月期（予想）	—	—	—	7.50	15.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2024年3月期の連結業績予想（2023年4月1日～2024年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	17,600	14.2	160	—	190	—	100	—	16.60

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無
新規 一社（社名）、除外 一社（社名）

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2024年3月期2Q	6,400,000株	2023年3月期	6,400,000株
② 期末自己株式数	2024年3月期2Q	375,751株	2023年3月期	375,751株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2024年3月期2Q	6,024,249株	2023年3月期2Q	6,149,547株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる場合があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項については、添付資料P3「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(セグメント情報等)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間における世界経済においては、ウクライナ情勢が膠着するなか、欧米ではインフレの長期化や各国中央銀行の金融引き締め政策が続く一方、中国経済は減速し不動産問題が露呈するなど安定感に欠ける局面にあり、足元では中東紛争の再燃による一層のエネルギーコスト上昇が懸念されるなど方向感に欠ける不安定な状況が継続いたしました。わが国経済においては、経済活動が正常化に向かうなか、原材料や人件費の上昇により持続的に物価は上昇し、節約志向の高まりにより個人消費が抑制される一方、円安のメリットを活かした訪日客の増加や諸外国の規制撤廃に伴い輸出が拡大するなど外需を起因とする緩やかな経済回復状況にあり、今後の経済金融政策や景気対策に注目が集まる展開となりました。

当社グループの主な事業分野である建設・土木業界におきましては、公共建設投資は底堅く推移し、一部で製造工場や物流施設への大規模投資が見られるなど全体として回復傾向にあるものの、建設資材の価格高騰や慢性的な技術労働者不足に伴う建設コストの上昇は継続しており、計画見直しや採算見直しによる設計変更が発生するなど、当社グループを取り巻く事業環境は厳しい状況が続いております。

このような環境において、当社グループは、2021年4月からスタートした3か年を対象期間とする中期経営計画も最終年に入り、「安定から成長へ」をスローガンに、新市場開拓、設備投資による効率化、事業提携またはM&Aなどに果敢に挑み、強靱な事業基盤を築くことを基本方針とし、当社グループ内外での事業連携強化に取り組んでおります。

当社グループの当第2四半期連結累計期間の売上高は、土木・建築工事業業の売上高の増加が寄与し、87億26百万円（前年同四半期比 23.0%増）となりました。

損益面におきましては、為替相場での円安ドル高傾向が定着し、材料価格・燃料価格が高止まりするなか販売価格の維持に努めたことや当社グループ内外での事業連携によるシナジー効果等により、営業利益は1億15百万円（前年同四半期は営業損失69百万円）、為替差益を28百万円計上しましたが貸倒引当金繰入額58百万円の計上等があり、経常利益は98百万円（前年同四半期は経常損失87百万円）となりました。また、親会社株主に帰属する四半期純利益は62百万円（前年同四半期は親会社株主に帰属する四半期純損失43百万円）となりました。

セグメントごとの経営成績は次のとおりであります。

(土木建築用資材事業)

土木建築用資材事業における売上高は、棒線加工品の溶接金網は大型案件が低減し、中小案件等の受注環境の悪化等により全体として数量減となりましたが、フープ筋の出荷数量が増加したこと等により、売上高は増加し77億8百万円となりました。また、原材料価格の高止まりや、光熱費や輸送費の上昇等の影響は続いておりますが、販売価格の維持に努めた結果、セグメント利益は2億92百万円となりました。

(土木・建築工事業業)

土木・建築工事業業における売上高は、公共土木が減少しましたが、民間企業の設備投資に関する引き合いは概ね好調に推移し、災害復旧などのスポット需要や、グループ内の土木建築用資材事業とパッケージ受注もシナジーを発揮し、売上高は10億87百万円となりました。また、外注労務費や建築資材の高騰の影響を受け建築躯体部門などの一部で不採算工事も発生しましたが、物件単位のコスト管理を徹底し、セグメント利益は40百万円となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第2四半期連結会計期間末の財政状態は、総資産が192億12百万円となり、前連結会計年度末に比べ8億52百万円増加しました。主な要因としましては、受取手形及び売掛金が5億27百万円、電子記録債権が3億85百万円、建物及び構築物が2億16百万円、機械装置及び運搬具が1億96百万円それぞれ増加しましたが、現金及び預金が1億49百万円、原材料及び貯蔵品が2億8百万円それぞれ減少したことによるものであります。

当第2四半期連結会計期間末の負債合計は、83億56百万円となり、前連結会計年度末に比べ7億78百万円増加しました。主な要因としましては、支払手形及び買掛金が6億20百万円、短期借入金が4億円それぞれ増加しましたが、長期借入金（1年内返済予定を含む）が4億43百万円減少したことによるものであります。

当第2四半期連結会計期間末の純資産は、108億56百万円となり、前連結会計年度末に比べ73百万円増加しました。これにより、自己資本比率は56.4%となりました。

(キャッシュ・フローの状況)

当第2四半期連結累計期間末における現金及び現金同等物の残高は、12億円となり、前連結会計年度末に比べ1億49百万円の減少となりました。

当第2四半期連結累計期間における「営業活動によるキャッシュ・フロー」は、1億99百万円の獲得（前年同四半期は12億72百万円の支出）となりました。主な要因としましては、税金等調整前四半期純利益98百万円、減価償却費1億50百万円、のれん償却額19百万円を計上し、売上債権の増加額8億54百万円、棚卸資産の減少額92百万円、仕入債務の増加額6億20百万円によるものです。

当第2四半期連結累計期間における「投資活動によるキャッシュ・フロー」は、2億39百万円の支出（前年同四半期は9億77百万円の支出）となりました。主な要因としましては、関係会社貸付金の回収による収入88百万円、有形固定資産の取得による支出1億22百万円、関係会社貸付けによる支出1億54百万円、連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出38百万円によるものであります。

当第2四半期連結累計期間における「財務活動によるキャッシュ・フロー」は、1億11百万円の支出（前年同四半期は17億17百万円の獲得）となりました。主な要因としましては、短期借入金の純増減額4億円、長期借入金の返済による支出4億43百万円、配当金の支払額45百万円によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2024年3月期の連結業績予想につきましては、2023年5月10日に公表しました連結業績予想から変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2023年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,350,536	1,200,763
受取手形及び売掛金	3,073,757	3,601,127
完成工事未収入金	332,193	322,027
電子記録債権	1,440,089	1,825,898
商品及び製品	882,728	935,345
仕掛品	490,046	512,154
未成工事支出金	40,715	87,574
原材料及び貯蔵品	2,574,881	2,366,171
その他	389,074	34,102
貸倒引当金	△3,898	△3,959
流動資産合計	10,570,124	10,881,205
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	1,837,480	2,054,388
機械装置及び運搬具(純額)	826,955	1,023,088
土地	3,949,724	4,035,924
建設仮勘定	65,381	18,988
その他(純額)	14,670	18,395
有形固定資産合計	6,694,212	7,150,784
無形固定資産		
のれん	165,761	146,259
その他	33,361	36,115
無形固定資産合計	199,122	182,375
投資その他の資産		
投資有価証券	511,684	608,916
関係会社長期貸付金	96,503	154,555
退職給付に係る資産	264,465	263,705
その他	122,696	127,649
貸倒引当金	△98,938	△156,990
投資その他の資産合計	896,410	997,836
固定資産合計	7,789,745	8,330,997
資産合計	18,359,870	19,212,202

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2023年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,910,795	2,531,021
工事未払金	138,754	178,347
短期借入金	1,100,000	1,500,000
1年内返済予定の長期借入金	729,960	719,964
リース債務	18,203	11,692
未払法人税等	42,435	45,623
賞与引当金	85,273	91,975
工事損失引当金	15,284	23,456
その他	501,663	819,542
流動負債合計	4,542,370	5,921,622
固定負債		
長期借入金	2,206,751	1,773,428
リース債務	110,627	109,787
繰延税金負債	317,473	360,752
役員退職慰労引当金	67,790	70,740
退職給付に係る負債	74,625	80,861
その他	257,930	38,820
固定負債合計	3,035,197	2,434,389
負債合計	7,577,567	8,356,012
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,290,800	1,290,800
資本剰余金	1,269,783	1,269,783
利益剰余金	8,235,807	8,253,065
自己株式	△166,637	△166,637
株主資本合計	10,629,753	10,647,010
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	154,924	220,972
繰延ヘッジ損益	△1,673	687
為替換算調整勘定	△36,160	△46,322
退職給付に係る調整累計額	21,059	21,984
その他の包括利益累計額合計	138,149	197,322
非支配株主持分	14,400	11,856
純資産合計	10,782,302	10,856,190
負債純資産合計	18,359,870	19,212,202

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)
売上高	7,095,169	8,726,643
売上原価	6,090,756	7,428,947
売上総利益	1,004,412	1,297,695
販売費及び一般管理費	1,074,246	1,182,218
営業利益又は営業損失(△)	△69,833	115,477
営業外収益		
受取利息	1,371	6,131
受取配当金	9,248	10,167
為替差益	50,615	28,916
受取賃貸料	13,140	13,399
その他	8,056	10,858
営業外収益合計	82,431	69,474
営業外費用		
支払利息	3,250	6,032
持分法による投資損失	8,983	18,834
貸倒引当金繰入額	84,033	58,051
その他	4,134	3,298
営業外費用合計	100,401	86,216
経常利益又は経常損失(△)	△87,803	98,734
特別利益		
固定資産売却益	0	6
投資有価証券売却益	138,430	—
負ののれん発生益	—	2,405
特別利益合計	138,431	2,412
特別損失		
固定資産除却損	20	2,554
段階取得に係る差損	44,814	—
特別損失合計	44,834	2,554
税金等調整前四半期純利益	5,793	98,592
法人税、住民税及び事業税	52,988	34,079
法人税等調整額	△3,056	1,450
法人税等合計	49,931	35,529
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△44,137	63,062
非支配株主に帰属する四半期純利益又は非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△633	622
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△43,504	62,439

(四半期連結包括利益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)
四半期純利益又は四半期純損失 (△)	△44,137	63,062
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△42,710	66,047
繰延ヘッジ損益	△1,005	2,361
退職給付に係る調整額	957	924
持分法適用会社に対する持分相当額	△9,810	△10,161
その他の包括利益合計	△52,570	59,172
四半期包括利益	△96,708	122,235
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△96,074	121,612
非支配株主に係る四半期包括利益	△633	622

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	5,793	98,592
減価償却費	97,118	150,651
のれん償却額	9,750	19,501
負ののれん発生益	—	△2,405
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	84,284	58,113
賞与引当金の増減額 (△は減少)	△8,626	5,042
工事損失引当金の増減額 (△は減少)	—	8,171
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	4,794	5,620
退職給付に係る資産の増減額 (△は増加)	△2,526	2,092
役員退職慰労引当金の増減額 (△は減少)	1,700	2,550
受取利息及び受取配当金	△10,619	△16,299
支払利息	3,250	6,032
持分法による投資損益 (△は益)	8,983	18,834
投資有価証券売却損益 (△は益)	△138,430	—
段階取得に係る差損益 (△は益)	44,814	—
売上債権の増減額 (△は増加)	△231,671	△854,218
棚卸資産の増減額 (△は増加)	△1,445,716	92,345
仕入債務の増減額 (△は減少)	353,771	620,105
その他	△83,807	3,874
小計	△1,307,136	218,604
利息及び配当金の受取額	10,163	18,191
利息の支払額	△3,530	△5,921
法人税等の支払額	△92	△31,191
法人税等の還付額	28,031	34
営業活動によるキャッシュ・フロー	△1,272,564	199,717
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△834,174	△122,447
有形固定資産の売却による収入	0	6
無形固定資産の取得による支出	△230	△6,927
投資有価証券の取得による支出	△110,986	△2,035
投資有価証券の売却による収入	208,805	—
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出	△154,086	△38,740
出資金の回収による収入	10	—
関係会社貸付金の回収による収入	—	88,032
関係会社貸付けによる支出	△85,692	△154,000
保険積立金の積立による支出	△3,503	△3,658
その他	2,749	115
投資活動によるキャッシュ・フロー	△977,107	△239,655
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	600,000	400,000
長期借入れによる収入	1,500,000	—
長期借入金の返済による支出	△219,987	△443,319
自己株式の取得による支出	△105,424	—
リース債務の返済による支出	△11,010	△12,079
配当金の支払額	△45,981	△45,898
非支配株主への配当金の支払額	—	△10,400
財務活動によるキャッシュ・フロー	1,717,596	△111,697
現金及び現金同等物に係る換算差額	181	1,861
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△531,894	△149,773
現金及び現金同等物の期首残高	1,635,679	1,350,536
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,103,784	1,200,763

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前題に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間(自2022年4月1日至2022年9月30日)
報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結損益 計算書計上額 (注) 2
	土木建築用資材	土木・建築工事	合計		
売上高					
外部顧客への売上高	6,660,942	434,226	7,095,169	—	7,095,169
セグメント間の内部売上 高又は振替高	15,645	—	15,645	△15,645	—
計	6,676,587	434,226	7,110,814	△15,645	7,095,169
セグメント利益又は損失 (△)	167,403	△15,946	151,456	△221,290	△69,833

(注) 1 セグメント利益又は損失(△)の調整額は、セグメント間取引消去755千円、各報告セグメントに配分していない全社費用△222,046千円であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2 セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

II 当第2四半期連結累計期間(自2023年4月1日至2023年9月30日)
報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結損益 計算書計上額 (注) 2
	土木建築用資材	土木・建築工事	合計		
売上高					
外部顧客への売上高	7,650,138	1,076,504	8,726,643	—	8,726,643
セグメント間の内部売上 高又は振替高	58,145	10,586	68,732	△68,732	—
計	7,708,284	1,087,090	8,795,375	△68,732	8,726,643
セグメント利益	292,780	40,771	333,552	△218,075	115,477

(注) 1 セグメント利益の調整額は、セグメント間取引消去1,476千円、各報告セグメントに配分していない全社費用△219,551千円であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。